

謹賀新年



くみあいだより

J A なんぽろ



JAなんぽろホームページアドレス <http://www.ja-nanporo.or.jp>



南幌町農業協同組合

# 新年ご挨拶



南幌町農業協同組合  
代表理事組合長

林 裕司

新年あけましておめでとうございます。組合員の皆様には輝かしい新春を、ご家族皆様ご健勝で迎えられましたことと心よりお慶び申し上げます。

平素よりJA事業運営に対しまして、組合員をはじめ、南幌町、各関係機関に格別のご支援、ご協力を賜りますことに、心より厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症も終息に向かい、経済活動も活発化し、人の流れ農産物の消費拡大とコロナ禍前まで戻り、JA事業においても、イベント等の開催、組合員との交流など事業運営も平時まで戻り、組合員のJA事業への協力・参加にお礼を申し上げます。

昨年の當農にあつては、積雪期間は108日間で平年より長く、融雪期は平年より4日程度遅くなりました。その後、6月から8月にかけて高温少雨で経過し、真夏日は13日で昨年の半分でした。その後9月以降は平年並みに推移し、収穫作業は平年より早く進みました。

一方、農政に目を向ければ、国際紛争や急激な円安の進行による飼料・肥料をはじめとした生産資材の高止まりが、農業経営に甚大な影響を未だに与えております。これにより、世界の食料需給事情が一変し、輸

降水、出芽そろいも良好で、田植え期以降、高温・多照で経過したことから分けつが順調に進み、出穗期は4日ほど早く、出穂期になりました。昨年のような高温障害もなく、10月25日時点での作況指数は北海道「103」、南空知で「103」となりました。集荷実績では146,727俵、出荷契約対比では87.4%となりました。品質面では天候に恵まれ整粒歩合が高く良品質ではありました

が、タンパク値においては、「ゆめびりか」で基準内品49%、昨年の26%より高い入庫で終わりました。

小麦は、春先から天候に恵まれ、生育が順調に進んだことから、収量・品質とも期待される中、「きたほなみ」9俵と製品反収は前年を下回りましたが、「ゆめちから」10.2俵、「はるきらり」8.4俵と前年を上回った結果、全品種合計では9.3俵と昨年より0.6俵增收しています。また、大豆をはじめ他畑作物や蔬菜についても一部病害虫、天候等による被害は見受けられましたが、おおむね農産物全般にわたり豊穣の秋を迎えた、沢山の農産物の出荷、JA事業の利用に対しても重ねてお礼申し上げるところです。

5月29日に「食料・農業農村基本法」が25年ぶりに改正され、「食料安保」を基本理念と位置づけ、「良質な食料が合理的な価格で安定供給され、国民一人一人がこれを入手できる状態」とし環境と調和のとれた食料システムの確立や農業の持続的発展、農村の振興が期待されます。

そのような中、組合員にJAが果たすべき役割・責任は一層重大なものとして受け止め、今後においても更なる繋がりを強化してJAを信頼して利用していただき、十分満足していただけるように引き続き努力し、組合員の所得安定に努め、ともに持続可能な夢のある農業実現に向けて取り組んでいかなければならぬと思っております。

第31回JA北海道大会では、食料安全保障の強化と農業所得の確保、農業分野における環境負荷低減への対応、人材の確保等、JAグループ北海道が一体となつて実践するべき事項に焦点を絞り議案を設定し、大会決議を通じて関係者の行動変容を加速すると位置付けております。当JAも最終年である第15次農協事業中期計画のARCh（アーチ）に掲げる「環境変化に対応し、将来にわたって持続可能な南幌町農業・農協の確立」を検証し、来年度、第16次農協事業中期計画策定に向け、JAなんばろの経営理念「JAなんばろは、最幸の信赖・利用・満足を実現し、組合員と地域社会に安心を届けます」を役職員全員の理念とともに、農業所得確保の強化に向けて「現状把握と環境整備による収量・収入増加」と「所得増加方策の継続」に取り組み、JAが課題を共有し、JAとしてのリーダーシップを發揮し、役職員一丸となつて、生産者の所得確保を優先に「魅力あるJA、選ばれるJA、貢献できるJA」を目指して、「組合員による組合員のためのJA」であることを今一度確認し、JA事業運営に取り組んで行く所存でございますので、組合員各位の特段のご理解と、より一層の結集、ならびに積極的なJA利用をお願い申し上げます。

結びになりますが、迎えた本年が、ご家族はじめ組合員皆様が、事故なくご健康とご多幸で過ごされ、災害の無い稔り多い豊穣の秋を迎えられますよう、心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

# 令和7年の

## 年頭にあたり



北海道農業協同組合中央会

代表理事長

樽井 功

多発や栽培適地の変化、国際紛争や急激な円安の進行による飼料・肥料をはじめとした生産資材の高止まりが農業経営に甚大な影響を与えており、農業・農村を取り巻く環境は一段と厳しさを増しております。

新年あけましておめでとうござい

ます。  
組合員の皆様におかれましては、日々當農に更に邁進されておられることと存じます。

また、組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対しまして、改めて敬意と感謝を申し上げる次第であります。

昨年の北海道農業については、春先から天候に恵まれ、各作物の生育は全般的に平年よりも早く進んでおりま

した。しかしながら、夏場は猛暑・豪雨による記録的な高温多湿の影響を受け、各作物等の収量および品質に影響が出た年となりました。

近年、気候変動等による自然災害の

成」の3つの議案を決議いたしました。

J A・連合会が一丸となって、生産現場の行動変容と組合員の意思結集による農政運動、J Aの経営管理の高度化やデジタル化の推進による業務効率化・生産性向上に取り組んでいかなければなりません。

さらに、消費者の皆様には、J Aグ

ループ北海道統一の情報発信のフレーズである「アグリアクション北海道」を浸透させるとともに、効果的な農業構造転換集中対策期間と位置づけ、施策を集中的に実行するとともに、今年3月に食料・農業・農村基本計画を策定するべく引き続き検討を進めています。

J Aグループ北海道としては、食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の確立のために、農地の確保および適正利用の強化、食料・自給飼料等の安定生産・供給と環境負荷軽減の両立に取り組みながら、それを後押しする力強い政策支援を求めていくことが重要と考えております。

また、昨年は第31回J A北海道大会が開催され、「食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の確立」、「J Aの組織基盤の強化と健全な経営基盤の確立」、「アグリアクション北海道の推進による農業・食・J Aへの理解醸成」の3つの議案を決議いたしました。

## 謹賀新年

代表理事組合長

林 裕司

専務理事

高島 茂和

理 事

辻崎 徹

常務理事

小林 弘孝

織田 章

白倉 崇史

岩崎 正範

瀬川 徹

畠山 高

奈良岡勝利

代表監事

白倉 隆幸

常勤監事

小林 信昭

監 事

中川 和芳

藤本 裕光

# 新年の挨拶



J Aなんばろ青年部  
部長

奈良岡 凌平

の理解が必要であり、寄り添い合う事でさらなる国消国産へと繋がっていくのではないかと感じます。

新年明けましておめでとうございます。

日頃より青年部活動に際しまして、各関係機関の方々並びに組合員の皆様にはご理解とご協力を頂いておりますことを厚くお礼申し上げます。

昨年は、1月1日に石川県能登地方で大地震が発生し、その翌日の支援物資の輸送に向おうとした海保機と旅客機の衝突事故などとても辛い出来事から始まつた一年であり、被災された地域の一刻も早い復興を願っています。また、ウクライナ情勢の動きは悪化し、中国の輸出規制なども世界経済に甚大な影響を及ぼしている中、さらに歴史的円安で我が國も燃料や肥料・飼料・資材や機械の価格高騰は止まらず、農業経営への影響が大きい状況です。

そのような情勢の中、国内では食料・農業・農村基本法が改正され、食料安全保障が重要な存在に位置づけられ安定的な食料生産、確保に向けた我々農業者が担う責任はさらに大きいものとなるでしょう。昨年度の令和の米騒動といわれた米不足と急激な米価の高騰が今も尚続いていますが、国政と生産現場・消費者の方、国内全体でお互い

総じてとても良い出来秋を迎えるれました。

また、昨年度の青年部活動を振り返りますと、コロナ禍を忘れてしまいそうな程、全ての活動が復活し、活気よく活動してきました。

昨年は、スノーメッセージ作成から始まり各種研修会や町外の消費者との交流と町内産農産物のPR、例年行つてきた活動に加え、新たに町内幼稚園児と一緒にキャベツの定植から収穫までを行つた教育活動をスタートしました。7月には国会議員会館と農林水産省を訪問し、議員、職員の方と直接お話を來た事はとても貴重な経験でした。

今年度は、盟友数の大きな減少もありますが、これまでと同様の活動を行えることに期待し南幌町の農業に貢献していくたいです。そして我々青年部は交流から生まれる新たな可能性を原動力にこれからも食と農の大切さを伝えていけるよう尽力してまいります。

最後になりますが、本年も各関係機関、組合員の皆様方にはご指導、ご鞭撻のほど宜しく申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

# 新年の挨拶



J Aなんばろ女性部  
部長

白倉 ひとみ

また、今年は「南空知JA女性部長並びに歴代部長会」を南幌町で行いました。皆さん久しぶりに集まる事ができて、美味しいお弁当を食べながら、懐かしい話や新しい話に花が咲いていました。アトラクションでは「単組対抗モルック大会」を行い、たくさん笑つて体を動かしながら楽しいひとときを過ごす事ができました。今後の活動としては1月に、コロナ禍で開催できていなかつた南幌小学校6年生との餅つき体験を5年ぶりに復活いたします。2月17日の女性部大会ではアレンジメントフラワーを制作する予定です。三役、各部会の代表者と協力して女性部員の皆さんに楽しい時間を過ごしてもらえるよう考へております。最後になりますが、今後も、各関係機関、組合員の皆様には、女性部活動に対し、ご協力と引き続きご指導のほどよろしくお願ひ申し上げ新年のご挨拶とさせていただきま

す。

日頃より女性部活動に対しまして、各関係機関の方々並びに組合員の皆様には、特段のご理解とご協力を賜り厚く感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症の影響も緩和され女性部活動には毎回沢山の方が参加してくれるようになります。6月の視察研修では、定山渓で美味しいランチビュッフェをいただき、温泉石鹼作りを体験しました。天候にも恵まれ、帰りには白い恋人パークに立ち寄りお土産を購入したり、ゆつくりと楽しい1日を過ごす事ができました。11月の懇談会では、北広島クラッセホテルで地域貢献活動の雑巾縫いの作業にご協力頂き、美味しいお弁当と、温泉を楽しみました。その後札幌厚生病院の保健師より、「認知症と健康長寿について」お話しをしていただき大変、勉強になりました。

発行者  
JAなんばる青年部  
編集責任者  
若杉 宗樹

## 若手農業者勉強会を開催



11月27日(水)、青年部主催で、若手農業者勉強会を行いました。当団は、10名の盟友との名の町内若手農業者が参加しました。勉強会では、岩見沢市の空知農業会館で、JA北海道中央会若見沢支所の竹内ひなの氏より、水稻を中心とした農業政策についての講習を受けました。生産の自安や交付金の決定方法、JAグループとしてどのような運動をしているのか、若手農業者が与える影響などを学び、知識を深めることができました。

その後、ヰセキ北海道にて最新のトラクターやコンバインなどの講習を受けた後、展示されてくるトラクターを見学しました。その際に、ヰセキ北海道の職員らと情報交換をし、来年に向けた営農計画を組み立てていく中で、大変有意義な時間となりました。これから農業を支える若手農業者が見識を深めていかれるよう、このような活動を続けていきたいと思います。

林組合長、奈良岡部長の挨拶と、高島専務の乾杯により始まった交流会は、JA役員と青年部がお互いの考え方を話し合うほか、農業情勢に関する意見交換や近況報告をし、大いに盛り上がりました。最後に若杉副部長より、来年の抱負とともに締めの挨拶があり、交流会は終了しました。

JAの役員と腰を据えて話す機会は滅多にないため、刺激にもなり大変有意義な時間だった」との声がありました。

今後も青年部では、JAとの交流を大切にし活動していきたいと思います。

## JA役員と交流

11月29日（金）、すしはんガーデンでJA常勤

理事と交流会を行いました。



12月5日（木）から6日（金）にかけて、札幌パークホテルで開催された第73回全道JA青年部大会に盟友3名が参加しました。

当団は、全道の盟友約800名が一堂に会し、令和6年度全道JA青年の主張大会や第49回全道JA青年部活動実績発表が行われ、全道大会に出場する単組のハイレベルな発表のなか、空知地区代表のJA夕張市青年部が、活動実績発表において最優秀賞を受賞し、1月に開催される東北・北海道ブロック大会で発表することができ決まりました。また、大会終了後の懇親会には、アームレスリング大会や純農BOSSコンテストが開催されたほか、JAグループ参議院選挙候補予定者の東野ひでき氏が来訪され、北海道農協青年部協議会の高見会長より推薦状が渡されました。

## 全道JA青年部大会に参加



## 女性部役員視察研修へ行つてきました

12月4日（水）～12月6日（金）、南九州方面にて女性部役員視察研修を開催いたしました。初めての道外研修となり、出発前から、皆さん緊張した様子が見られました。

1日目は、鹿児島県「霧島神宮」に行きました。天気に恵まれ、鮮やかな朱色が生える境内と、桜島が見える展望台からの眺めは大変素晴らしいかったです。

2日目は、鹿児島県「小城製粉株式会社」へ米粉製造工場の視察に伺いました。工場内には数百種類の米粉が積み上げられ、同じお菓子を製造する原料でも、それぞれ配合や粗さの違う米粉が用意されていることを知りました。併設されたお菓子店「のせ菓業」では、全て米粉で作られているという、和菓子から洋菓子までたくさん商品が並び、米粉でこんなにも様々な種類のお菓子を作ることができるのかと、参加者一同大変驚いていました。また、出来立ての鹿児島名物「かるかん」やお土産までいただき、充実した施設見

学となりました。

工場視察のあとは、南幌町の姉妹町である熊本県多良木町、「JIAくま多良木支部女性部の皆さんと交流会を行いました。到着するまでは、少々緊張もありましたが、手作りの郷土料理「いきなり団子」でおもてなしいただき、あつと/or間に打ち解けることができました。日本の北と南に位置し、気候は違うものの、同じ農業者として、終始会話が弾み、名残惜しくもまた会える」とを願い笑顔でのお別れとなりました。

最終日には、南幌町の酒米を使用しております熊本県多良木町にある「有限公司那須酒造場」へ視察に伺い、焼酎が完成するまでの過程を丁寧に説明頂きました。さらに当日は、偶然にも南幌町産の酒米を使った米焼酎「南幌彗星」の仕込みをしており、実際に作業体験をさせていただきました。貴重な経験となりました。

あつという間の2泊3日でしたが、大変充実した視察研修となりました。今後は、学んだことを活動に存分に生かし、様々な地域の女性部員の皆さんとの交流や米粉の活用等、女性部活動に取り入れていきたいと思います。



## エーコーペ 酢を活用した美味しい料理

12月9日（月）、あいのる調理実習室にて、「エーコーペ 酢料理講習会」が開催され、女性部員21名が参加しました。エーコーペ 酢の製造元、大興産業株から講師をお招きし、講習を行いました。

始めに、お酢の基礎知識について説明していただき、お酢がもたらす効果やエーコーペ 酢の種類の違いなどが紹介されました。いただいた冊子には、それぞれのお酢に最適なレシピが掲載されており、「自宅でも作ってみたい」という声が聞かれました。その後、料理実習が始まり、お酢を使った料理として”包まない！稻荷ちらし、和風ほめられ酢豚、きのこのおろし漬け、わかめたっぷり酢一品“の4品を作りました。

各班それぞれ役割を分担しながら協力して作った料理は、どれも簡単に作ることができ、お酢が入っていることであっさりと食べやすく、とても美味しく出来上がりました。

今年最後の女性部活動となつた、今回の酢料理講習会ではお酢の性質や特徴、料理について学び、大満足で終えることができました。昨年とはガラリと変わった4品を教えていただき、来年もまた違った献立を教えていただぐの楽しみに、2024年の活動を締めくくりたいと思います。



## 4Hクラブ活動報告会

12月2日（月）、JA3階大会議室で南幌町4Hクラブ活動報告会が開催されました。

ゼミナール活動報告では、山田悠介氏（栄進、有）より「R6年度秋まき小麦4H流考察」と題し、播種時期の違いによる生育と収量への影響について発表されました。標準播きと遅播きの千粒重や製品収量の違いなど、グラフを用いてわかりやすく比較されていました。

活動報告の後には、株丹波屋の山影栽培課長より、2種類の菌根菌の比較試験について、空知農業改良普及センターの古館地域係長より水張りが後作に与える影響についてそれぞれ情報提供があり、生産者たちは真剣に耳を傾けていました。



# 長船技師による営農情報！

## 2025年(令和7年)の干支は巳年(みどし)



### 1 巳年(みどし)とは

新年明けましておめでとうございます。

2025年は12支では第6番目に数えられる巳年(みどし)です。「巳」は胎児の形から派生した文字で「生まれてくる」「将来・未来がある」などと言った意味があります。「巳」は「実」とも読み替え、お金が「身(実)に付く」と言われます。又、脱皮する蛇のイメージから巳年は「復活と再生」を意味します。植物に種子ができ始める時期、次の生命が誕生する時期など、新しいことが始まる年とも言われます。

### 2 水稲作況と米価

明治26年(1893年)～平成25年(2013)年までの過去11回の巳年の水稲作況指数と米1俵価格推移を下記の表にまとめました。明治26年から昭和40年までの7回の巳年の内、5回が冷害でした。昭和52年以降の巳年は作況指数は100を超えており、米の一俵価格は昭和52年をピークに低下しています。さて、本年はどうなるのか、豊穣の秋を祈願するところです。

#### 巳年の水稲反収(kg/10a)・作況指数と価格の比較

西暦	元号	収量kg/10a	作況指数	1俵(60kg)価格	備考
2025	令和7年				
2013	平成25年	562	105	14,472円	四国四万十市最高気温41℃観測
2001	平成13年	526	100	14,708円	
1989	平成元年	526	107	16,743円	
1977	昭和52年	504	112	17,232円	
1965	昭和40年	334	86	6,538円	障害型冷害
1953	昭和28年	233	81	4,273円	障害型大冷害
1941	昭和16年	117	51	17円60銭	障害型・遅延型併行冷害
1929	昭和4年	206	—	10円	
1917	大正6年	194	—	8円48銭	
1905	明治38年	124	66	5円28銭	障害型冷害
1893	明治26年	127	74	2円64銭	遅延型冷害

○北海道の水稻作付面積と反収の推移・作況指数から抜粋

○理科年表2024

○米価の推移(政府買入価格 明治21年～平成8年)

○平成13年・25年産米の相対取引価格 農林水産省

# JAグループ北海道の農政活動強化に向けて

## 第4回「農政活動の仕組み」について

コロナ禍による農畜産物の需給緩和、肥料・飼料をはじめとする生産諸資材の価格高騰、気候変動の抑止に向けた環境負荷軽減の取組み、年々甚大化する自然災害による農地・施設等の損壊、深刻な労働力不足など、我々JAグループの努力だけでは解決できない課題が山積しております。

食料安全保障の強化、持続可能な北海道農業の確立のためには、我々の努力だけではなく、国の支援が不可欠であります。そのカギとなるのが農政活動であります。

農政活動とは、組合員一人ひとりの声をJA・地区で集約し、みんなの声として、農業・農村・JAに理解のある国会議員に対し、現場の実態を届け、その課題の解決につながる政策を実現してもらう一連の活動・運動であります。

令和5年度は、食料・農業・農村基本法の改正や、作目別の経営安定対策をはじめとする農林水産予算の確保に向け、JAグループ北海道では農政活動を展開しました。その結果、予算の確保をはじめ、さまざまな政策支援が実現しました。しかし、これですべての課題が解決する訳ではなく、生産現場には、まだまだ課題が山積しております。

生産現場の実態を届け、我々の求める政策を実現させるためには、国会議員による国や行政への積極的な働きかけが重要です。そして、そのような議員を支えていくことも農政活動の柱の一つであります。

国会(政治)は数が力です。国を動かすには、国会に一人でも多くの農業やJAの理解者を増やすことが重要であります。そのため、我々JAグループの代弁者として、先頭に立って多くの国会議員に働きかけ、農業やJAの理解者を増やし、まとめていくことができる議員、つまり、JAグループの代表議員が必要なのです。



【JAグループ北海道の農政活動強化に向けて】と題し、農政活動や参議院選挙の仕組みなどを、来年夏頃まで連載いたします。  
次回(第5回)は、参議院選挙の仕組みについて紹介します。

農業や農村、JAに理解のある政治家に  
現場の声や実態を届け、  
支援する

### 現場の声

### JA・JA職員(とりまとめ)

### 農政活動

### 政策の実現

東野ひでき公式  
LINEアカウントへの  
登録はこちらから



東野ひでき北海道後援会



SEIKAN Inc.  
We say. We can.

日替  
わり

特価品セール!

中古品販売!

SEIKAN FESTIVAL

# セイカン祭

SAPPORO

第9回  
現地開催

中古

作物用鉄コンテナ  
即売会!

※無くなり次第終了いたします。

数量  
限定

第9回

日頃の感謝を込めて、年に1度の特別セール!

春の営農資材大展示会

2/13<sup>THU</sup>-14<sup>FRI</sup>

札幌セイカン祭

9:00-16:00 ※14日(金)は15時まで

会場

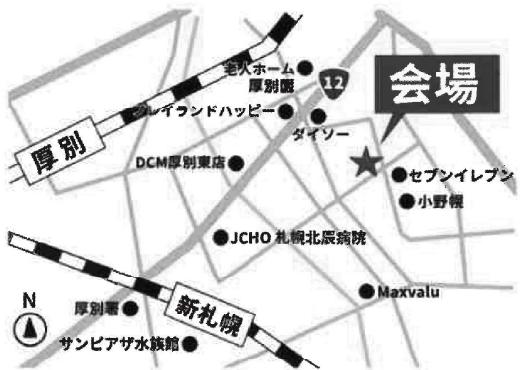
セイカン株式会社[札幌支店]

北海道札幌市厚別区厚別東3条3丁目14番35号 TEL. (011) 809-4122

両日開催

お買い上げ金額に応じてお得な特典あり!

■主催/セイカン株式会社



当組合ではタブレットでのお取引受付を開始します

タブレットで  
簡単・便利に

JAバンクでの  
お取引を  
もっと便利に

# JAバンク スマイルナビ

郵便番号  
検索すると住所が  
自動で表示されるし、  
金融機関も検索できて  
とっても楽ね！  
伝票よりも便利で  
入力しやすいわ！

タッチで簡単  
お取引！

JAバンクスマイルナビで、大変  
だった書類への記入が不要に。  
タブレットの画面に沿って必要  
事項を入力・選択するだけで、  
お取引の受付ができます。※1

1回

複数の書類  
記入不要！

複数のお取引でもタブレットなら  
署名は一度きり。  
続けて入力する場合、2件目のお  
取引から同じ内容は自動表示  
されるため、入力不要です。※2

JA CASH  
CARD

カード持参で  
自動入力！

キャッシュカードをご持参いただけ  
れば、住所等のお客様情報や口座  
情報が自動で表示され、簡単・便利  
にタブレット入力が行えます。※3

タブレット画面で  
文字が見やすく、  
簡単に操作ができる  
とっても  
便利だぞう

## ご利用いただけるお取引

お預入れ

お引出し

お振込み

お届け内容の  
変更

定期貯金

定期積金

普通貯金等  
口座開設  
※原則ご新規の  
お客様向け

普通貯金等の  
ご解約

キャッシュカードの  
発行・再発行等

※1：キャッシュカードと暗証番号による認証成立を条件に、同一名義で当組合に開設された当座性口座・定期性口座の情報および届出事項の一部がタブレットに表示されることがあります（JAごとに表示される内  
容は異なります）。詳しくは窓口までお問合せください。

※2：金額等の必要事項の入力等は必要となります。

タブレットは一度に最大10件のお取引の入力を続けて行なうことができますが、署名は一度きりとなります。また、続けてお取引の入力を行なう場合は、一度入力した住所・電話番号などの再入力は不要です。

※3：キャッシュカードはカード表面記載の会員ご本人様のみご利用いただけます。お客様のカードをご家族等が  
ご利用することはできません。また、暗証番号についてもご家族を含めた第三者に開示されることも禁止され  
ています。ご家族名義のキャッシュカードをご希望のお客さまは窓口までご相談ください。



詳しくはお取引のあるJA窓口にお問合せください。※一部のJA・店舗ではご利用いただけません。

## 理事会会報生口

12月9日

12月定例理事会で審議された主な内訳について、次のとおり報告申し上げます。

### 【議案】

1. 大口貸付について
2. 規程類の改正について
3. 固定資産の除却について

### 【報告事項】

1. 秋の経営懇談会の開催内容について
2. 令和7年度作付意向面積の集計について
3. 11月末 農産物保管状況について
4. 11月末 蔬菜販売状況について
5. 11月期 JAローンの貸付について
6. 内部監査の実施報告について
7. 組合員異動状況について
8. 令和6年度第3四半期の固定資産取得、処分について
9. 固定資産の賃貸について
10. 令和8年度職員採用計画について
11. 永年勤続表彰と記念品について
12. 11月末財務状況について

## JASスマホ教室を開催

12月3日（金）H-1ホールにてスマホ教室を行いました。当田は、スマートフォンのかい講師を招き、午前の部と午後の部の二回講習を行いました。今回の講題では、ジャパンスマートフォンを使って進められ、探し方やインストールの仕方、人気のアプリケーションの紹介など、スマートフォンを使つたことがない人でも様々なアプリケーションを楽しむことができるものとなりました。今後もJAバンクなんぽりじざ、お客様が快適に生活できる環境作りに努めて参ります。



## ～表紙の紹介～

◎JA町の表紙  
は、1年生おれの  
当JA職員の名  
に表紙を飾つてい  
ただきました。



## 編集後記

新年あけましておめでたございます。本年も  
JAなんぽり及ぶ、みなおこだまつをよししくお  
願いいたします。JAなんぽりに入協して初めて  
の年越しを迎えたのですが、今年は本年の年と知  
り新年早々に感染込んでいたくもあいだより担当  
の上地のいじやおのこべを頑張りました。

くみあいだより担当の  
上地は空知地区の降  
雪の多さにびっくりし  
ています。



員 事 業 異 動	人事異動は左記の通りです。
△政田 美咲	（旧部署：金融部 共済課） 退職（12月31日付）

## 私達のJA

令和6年11月末日現在

組合員 2,618名  
(前年同期比 ▲40名)

正組合員 412名  
(前年同期比 ▲17名)

准組合員 2,206名  
(前年同期比 ▲23名)

正組合員戸数 260戸  
(前年同期比 ▲11戸)